

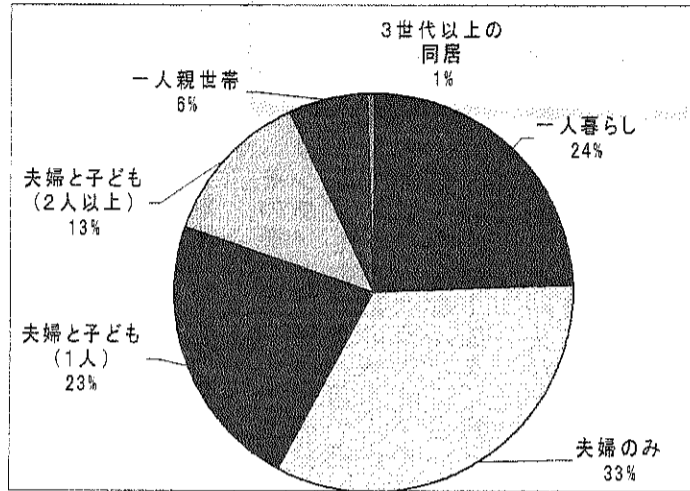
# 王子五丁目団地 自治会会報

## 安心して暮らせる ささえあいアンケート結果

自治会福祉部を中心にして  
取り組んだ「安心して暮らせる  
ささえあいアンケート」は  
491世帯の方のご協力を頂  
きました  
(回収率  
22%)。

成で家族構  
一人居る  
一人暮らし  
夫婦のみ  
夫婦と子ども  
(1人)  
夫婦と子ども  
(2人以上)  
一人親世帯  
3世代以上の  
同居

### 家族構成



みると、50歳代29、60  
歳代28、70歳代25名で、  
高齢化が進むとともに、一人  
暮らしの方も多くなってきて  
いるようです。

ご近所とおつきあいをど  
のようにしているかの問に  
は、全くつきあいがいいは6  
%ほどで、ほとんどの方が会  
ったら挨拶を交わしたり、お  
裾分けをしたりしています。  
何かあったときにご近所の  
方の助けは有り難いもので  
す。ドアを閉ざしたらそれぞ  
れのご家庭の生活がありませ  
が、意識して隣近所とおつ  
きあいをすることも重要なこ  
とだと思います。

く生活して  
感じる不安  
は、どの年  
代でも経済  
面での不安  
を感じてい  
るようです  
。また、そ  
れと健康面  
での不安を  
感じている  
方も高年齢  
になるにつ  
れて多くな  
っています  
。現在の10  
月からの都  
市整備が

# 「ボランティア学習会」

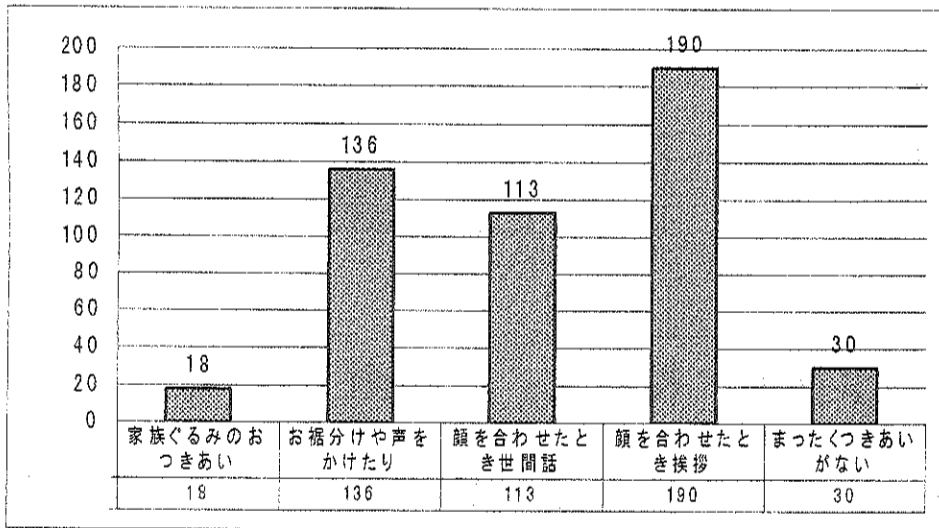
## ボランティア活動の意義と心構え

八月十九日(木) 午後七時～九時

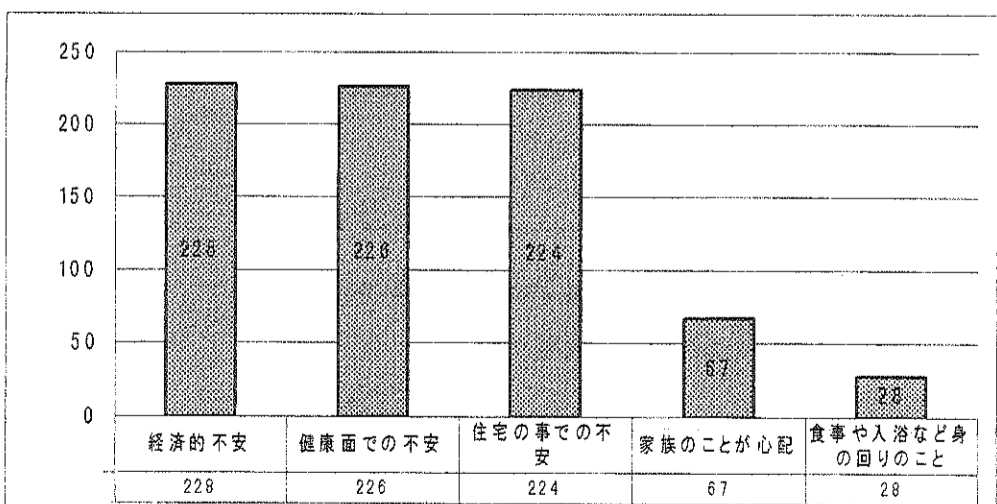
講師 木村芙紗子さん

(立正大学・弘前学園大学・青山大学等の講師、北区老人大学講師)

### ご近所つきあい (複数回答)



### 生活する上での不安 (複数回答)



整備公団に  
移行します  
その時点で  
家賃値上げ  
をしよう  
としていま  
が、住宅に  
対する不安  
も年代に関  
係なく多く  
の方に不安  
を感じてい  
ます。自治  
会では、取  
り組んで家  
賃値上げと  
引き下げる

見合わせ」を求め緊急要請  
署名を数多く集め、家賃値上  
げをしないよう、建設大臣や  
公団総裁に提出することは私  
たちの生活を守る上でも非常  
に重要です。  
家族全員の署名をして、署  
名受付ポスト(役員宅)か、  
各エレベーターホールに設置  
してある署名「回収ボックス」  
に9月5日までに投函下さ  
い。  
署名は9月10日に開催さ  
れる全国集会後、建設大臣と  
住都公団総裁に提出します。

# ボランティア活動希望者

223名

「日常生活のうえで身の回りのことなどで援助が必要になった場合」の問には、福祉サービス希望する方が全体の85%を超えました。核家族化がすすみ、高齢になった場合何を一番のたよりにするかは非常に重要な問題です。米年4月から実施される介護保険についても様々な問題があるようです。気兼ねなく利用できる福祉サービスはもっと充実させる必要があると思

います。「あなたが関心を持っていること」については、保険・医療に関するものがトップで70%以上の方が関心を持っています。年金・医療保険制度・介護保険問題など生活を取り巻く状況は決して私たちの生活状況や要望に添ったものにはなっていないと。団地で生活する上で今後自治会として取り組まなければならない課題も多くなってくると思います。最後の質問のボランティア活動については、223名の

方が何らかのボランティア活動をと思っています。「ボランティア活動をやりたい」と思っている方々の力も借りながら自治会としても高齢化問題等に居住者の皆さんと共に研究をし、やれるところから実施するよう話し合いをしています。今回のアンケートは自治会福祉部を中心に項目を検討しました。不十分な部分もたくさんあったものと思います。ご協力下さった皆さんに感謝すると共に、自治会としても継続した活動をすすめます。

## 平和について考える映画会

(9時間連続上映)

日時：8月22日(日)

昼12時より午後9時まで

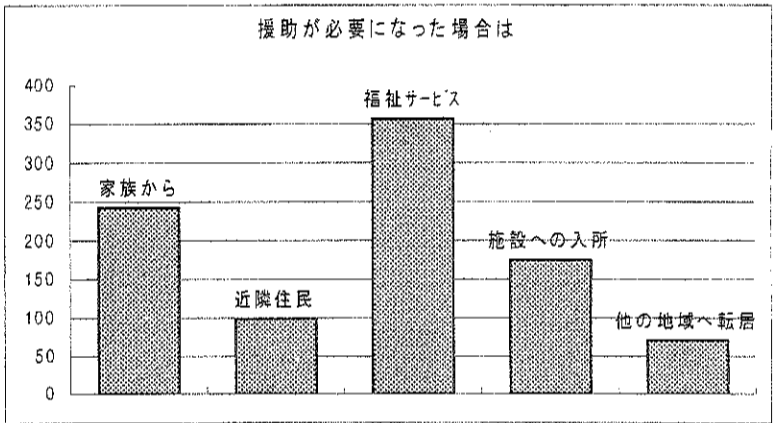
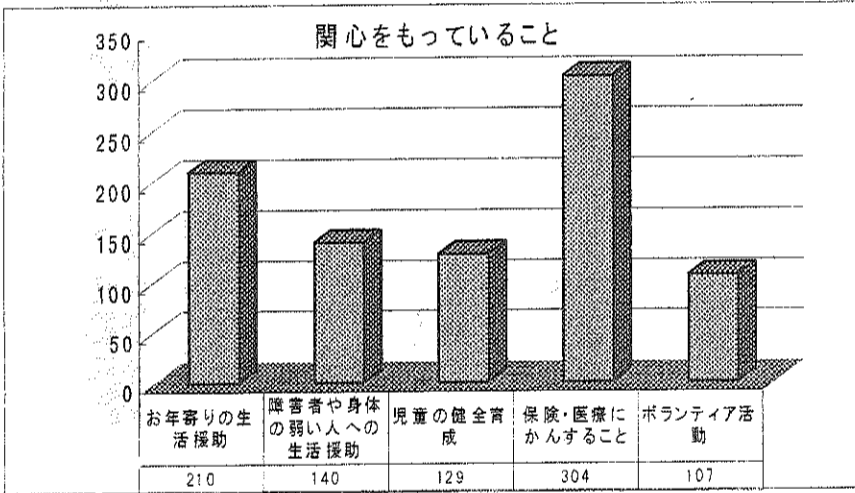
場所：団地集会所

参加費無料

上映する映画はポスターで掲示します。

多数の方の来場をお待ちしています。

その第一段として、「ボランティア学習会」を計画しました。夏の暑い時期ですが多数の皆さんが参加され、ボランティアの第一歩を歩んで下さい(詳しくは1面をご覧下さい)。講師の木村美紗子さんは小・中・高校の教師を経て昭和41年より青森県教育委員会婦人教育を担当、昭和52年には文部省に入省し、国立婦人教育会館の主任専門職員として昭和58年まで勤務。その後立正大学、弘前学院大学、青山学院大学で講師を勤める。また、学、婦人講座などの講演活動、婦人大学の講師、社会福祉協議会の評議員も兼務されている方です。



下記入会申込書を「自治会事務所・役員宅」へ投函下さい。  
(FAX・E-mailでもOKです) 電話・FAX 3913-6723 E-mail QZV14710@nifty.ne.jp  
入会の手続き等についてはその後お知らせします。

### 自治会入会申込書

公団王子五丁目団地自治会に入会します。

会費徴収 郵便局 集金 持参  
いずれかに○をお願いします。銀行については別途申込書が必要です

号棟 \_\_\_\_\_ 号室 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

入居年 \_\_\_\_\_ 昭和 \_\_\_\_\_ 平成 \_\_\_\_\_ 西暦 \_\_\_\_\_ 年

世帯主氏名(フリガナ) \_\_\_\_\_

家族氏名 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

現在の家賃 \_\_\_\_\_ 円(共益費除く)

ライフアップ実施状況

大型浴槽 \_\_\_\_\_ システムキッチン \_\_\_\_\_ 大型フード \_\_\_\_\_

年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

公団王子五丁目団地自治会 御中